



関係各位

平成 27 年 6 月 28 日

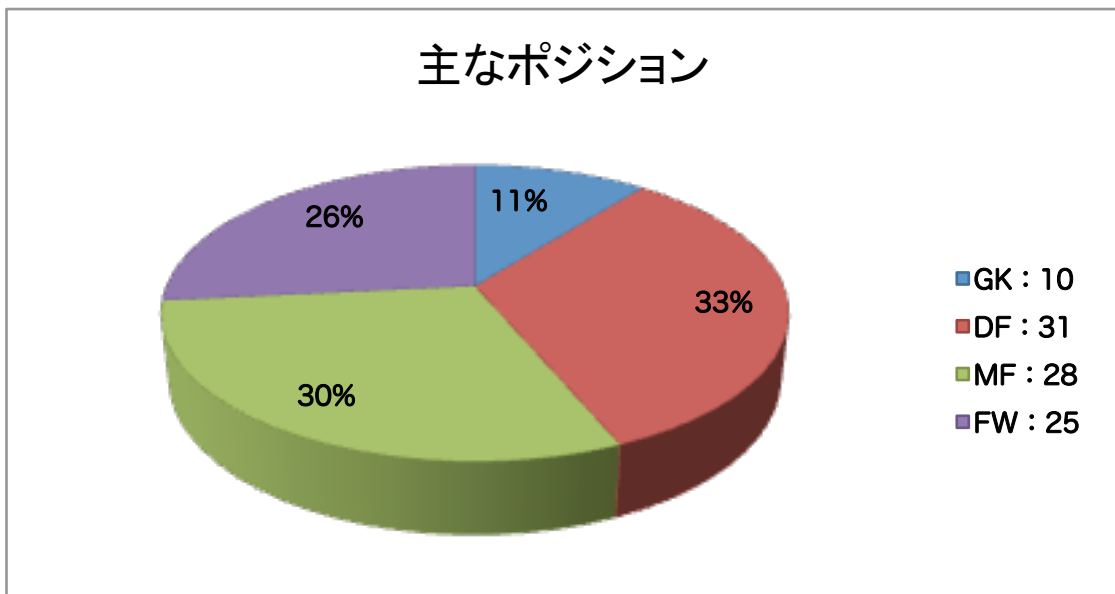
一般社団法人 神戸市サッカー協会
理事（医科学委員会） 戸祭正喜

活動報告書（第 1 回神戸市サッカー協会医科学講習会）

1. 期 日：平成27年6月6日（土）17時30分から19時40分
2. 場 所：神戸市勤労会館 7F大ホール
3. 実施状況およびその内容
参加者は150名でした。
17:30～18:30まで戸祭が「現場での応急処置」について、PCプレゼンテーションにて講演を行った。
次いで、10分間の休憩の後に、18:40～19:40まで大塚製薬株式会社神戸支店ニュートラシューティカルズ事業部学術担当課長の宮本利夫が「熱中症対策」について、PCプレゼンテーションにて講演を行った。
残った時間を利用して、聴衆からの質問を受け付け、質疑応答を行った。

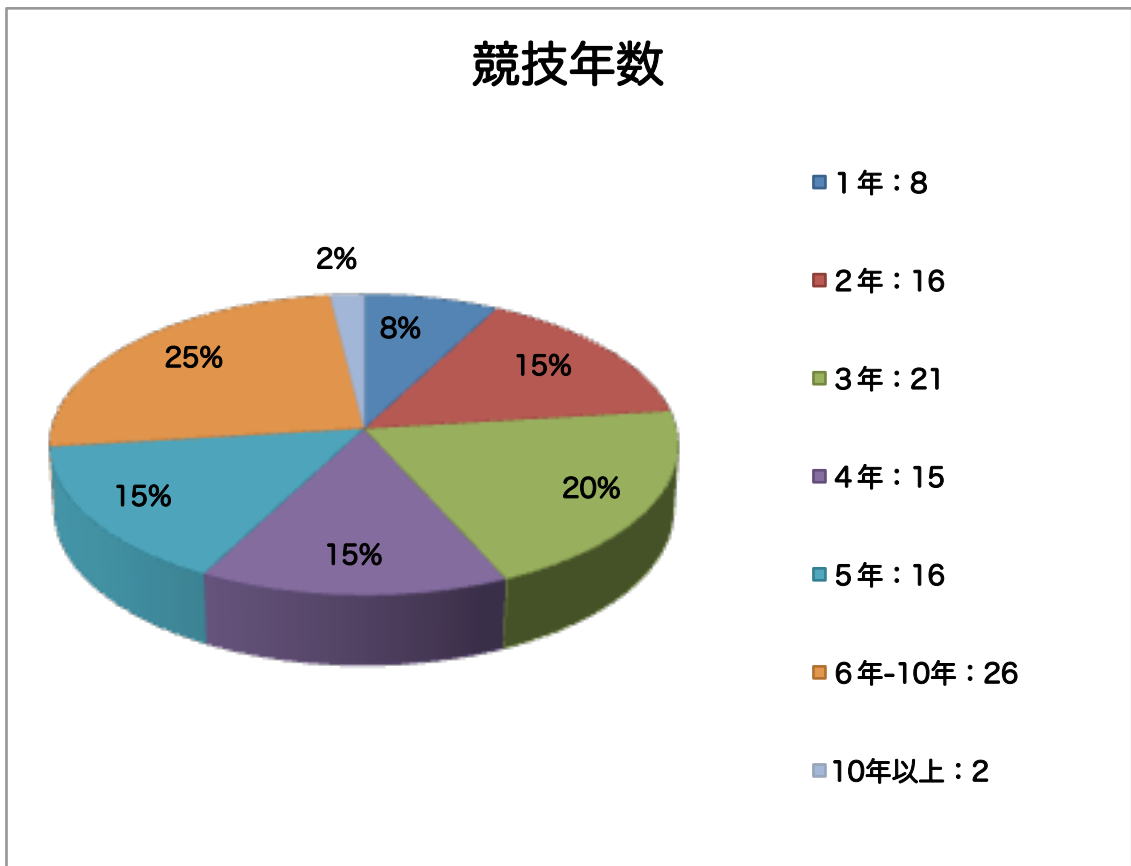
参加者からの感想（アンケート用紙の内容を集計）
講習会の受付でアンケート用紙を配布し、回収できたのは143枚（95.3%）でした。

【主なポジション】

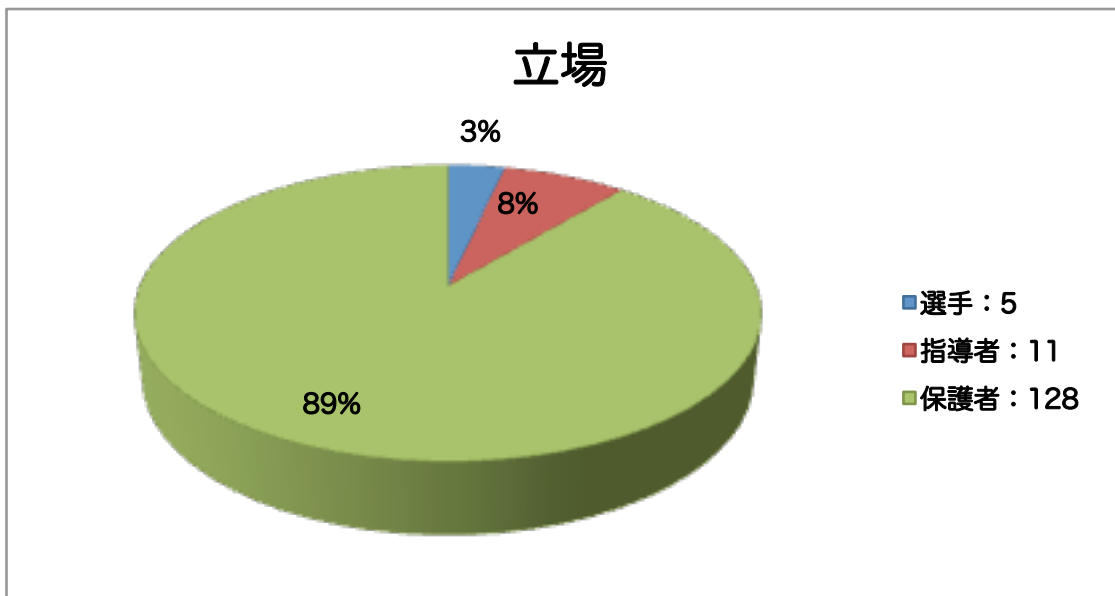




【競技年数】



【どのような立場で関係していますか？（複数回答可です）】



【現時点で、からだのどこかにスポーツ障害を抱えていますか？】

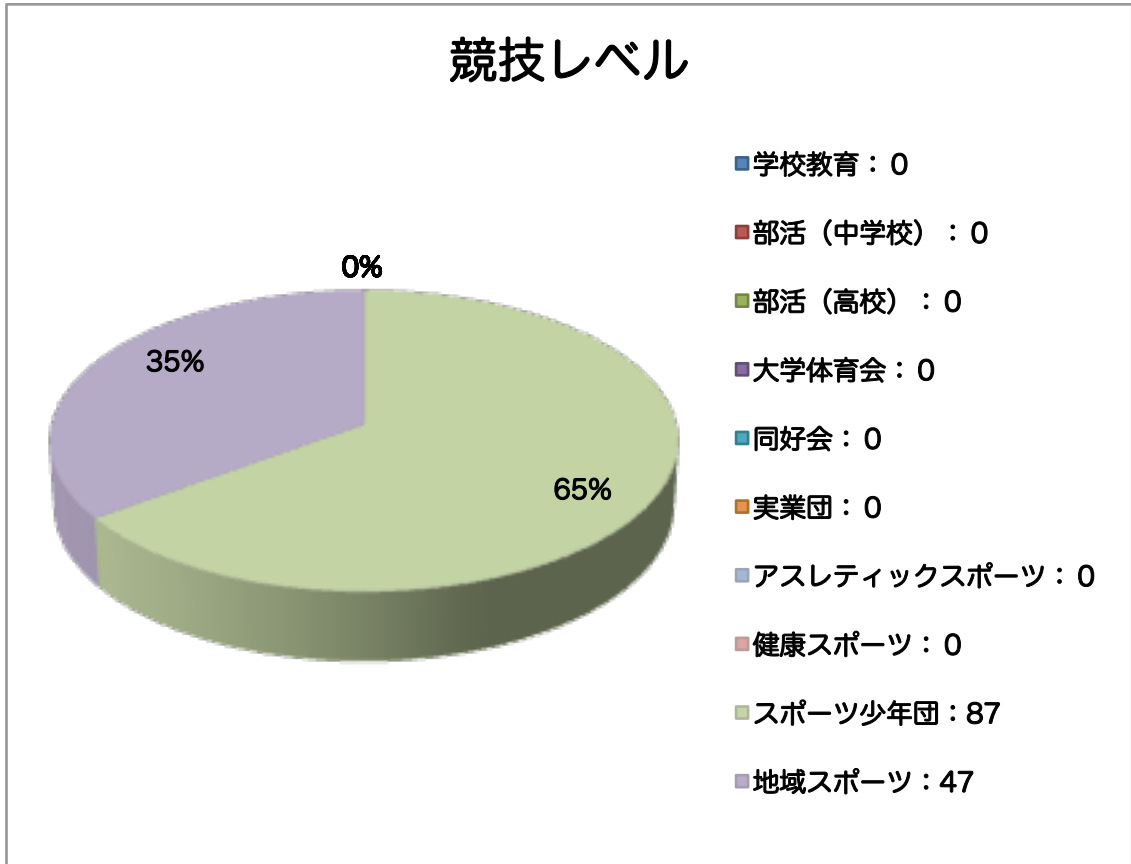
はいと回答されたのは8名（5.6%）でした。

このうち治療中と回答したのは3名、治療していないのが5名でした。

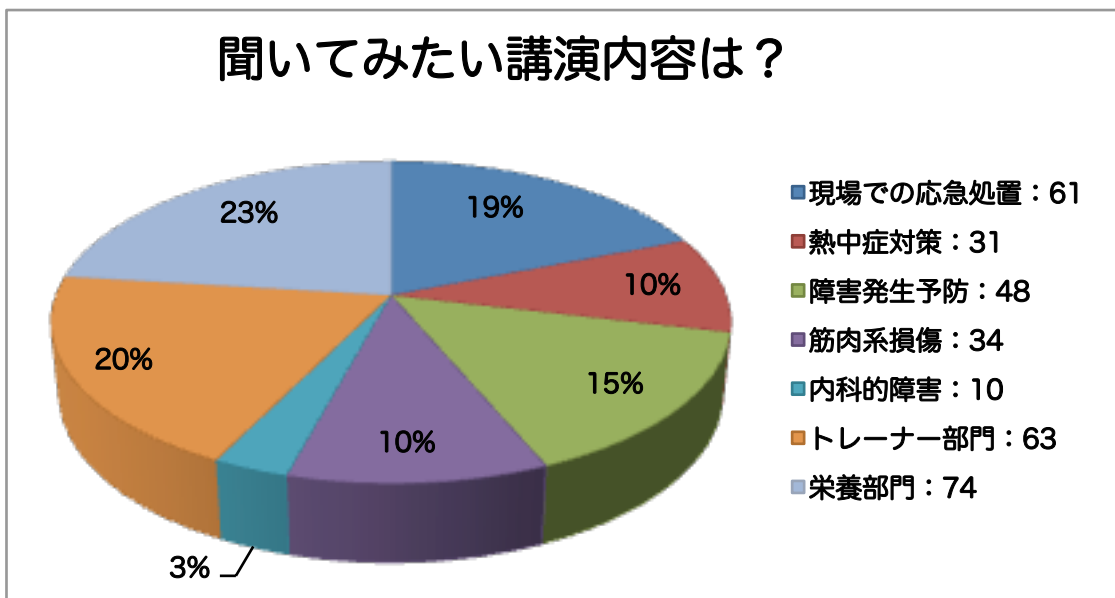
なしと回答されたのは124名（86.7%）でした。



【競技レベルについて】

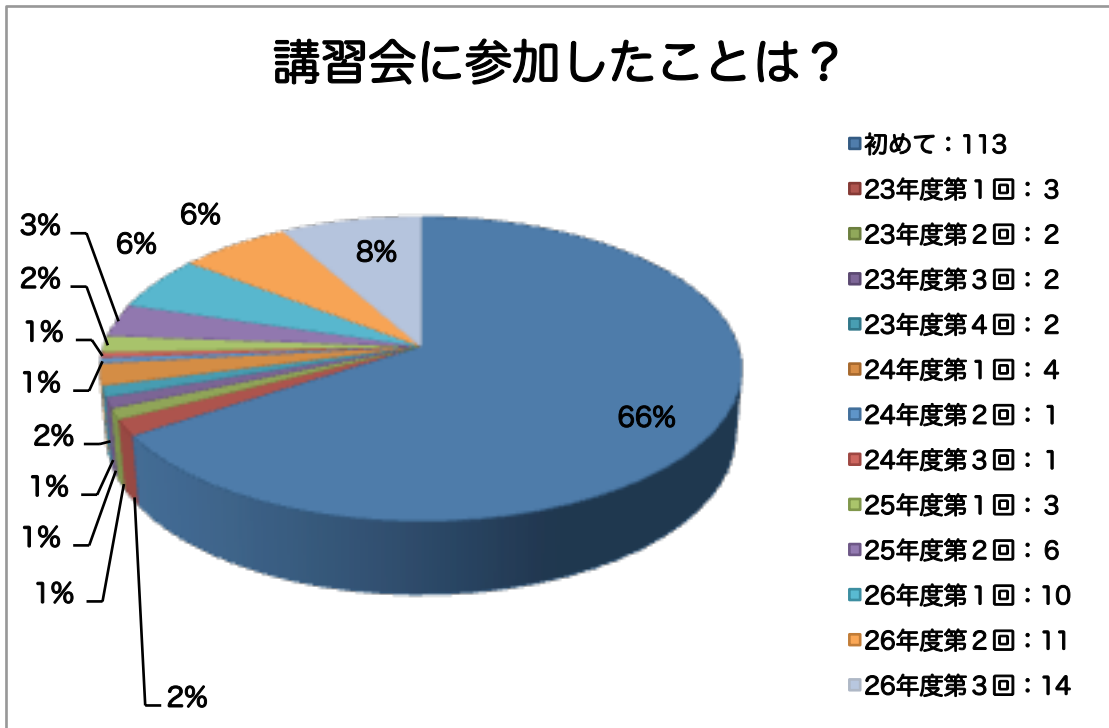


【聞いてみたい講演の内容はどれですか？（複数回答可です）】





【今までに神戸市サッカー協会医学講習会に参加したことはありますか？】



【その他の要望】

- ・準備運動ですべきストレッチなど
- ・怪我の予防とサッカーに必要なストレッチ
- ・メンタルトレーニング
- ・ウェアやシューズについて高機能のものはどのくらい効果があるのかなど
- ・靴の選び方
- ・体幹トレーニング

4. 問題点および今後の課題

参加者は、平成23年度第1回が260名、第2回が150名、第3回が100名、第4回が10名、平成24年度第1回が180名、平成24年度第2回が150名、平成24年度第3回が100名、平成25年度第1回が162名、平成25年度第2回が151名、平成26年度第1回が133名、平成26年度第2回が144名、平成26年度第3回が117名と推移していますが、今回も150名と多くの人に参加していただきました。

競技レベル別でも、前回と同様にスポーツ少年団の選手、指導者、保護者が多く参加されており、65%を占めていました。

立場では、保護者の方が89%を占めていました。

今回は指導者の参加が11名あり、講演後の質疑応答でも、かなり積極的な意見交換ができたのは良かったと思われます。



今回の参加者のうち、新規の参加者が113名（66%）であり、複数回連続して受講していただいている参加者は減ってきているようです。

毎年チームとして参加していますと回答していただいた保護者がおられました。

今後、聞いてみたい講演内容についても、大体前回とほぼ同じアンケート結果となっていました。栄養部門、トレーナー部門、現場での応急処置の順に希望されている人が多かったです。

怪我の予防とサッカーに必要なストレッチを教えていただきたいと意見は多くみられます。

障害予防を考慮したウォーミングアップ方法としては、日本サッカー協会でもービングプレパレーションという方法がアンダーの全カテゴリーで導入されようとしています。今年の秋頃にはDVDが作製される予定ですので、この講習会で取り上げて、拡散したいと考えています。

また、内科的なこととしましては、食物アレルギーのことや予防接種のことなど、メディカルチェックとして必要なことについても伝えていこうかと考えています。

第2回の神戸市サッカー協会医科学講習会は、平成27年10月3日（土）17時30分から19時40分を予定しています。

講演内容については、「障害発生予防」と「栄養関連」の講演を行う予定です。